



お お せ ど つ う し ん

# 大世渡通信

第50号  
【2023年9月】

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

## ◆仕事ばかりしていた父◆

こんにちは。中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、(株)日本彫刻工芸、代表の大世渡(おおせど)です。大世渡通信第50号をお送りいたします。

さて、去る8月4日の夜、私の父が79年の生涯を閉じました。数年前から父は施設と病院を歩き来していました。大病を患っていたわけではないのですが、8月4日の早朝に病院から突然、「お父さんの呼吸が怪しいので、すぐ病院に来れますか」と連絡が。大阪にいる妹にもすぐ連絡し急いで病院へ。先生に話を聞くと、誤嚥性肺炎で厳しい状況であるとのこと。

大阪にいる妹が来て、また、妻や子どもたちも病院に来ました。今回、コロナが明けていたおかげで、全員が病院に入ることができ、父の最期を全員で看取ることができました。その後、親族と従業員だけで家族葬に近いものをあげさせていただきました。

父は、とにもかくにも仕事ばかりしている人でした。私たち子どもらを旅行にはよく連れて行ってくれましたが、父にはこれといった趣味がなく、また、お酒も飲まず、本当に仕事ばかりしていた人でした。

今でも記憶にあるのですが、父も私もまだまだ体力があった頃は、それこそ忙しいときは深夜2時、3時まで一緒に働いてから家に帰るなんてこともよくありました。

また、本当に職人気質の人で、お客様が納得するものを作るのは当然のこととして、自分自身も納得のいくものを作ることを決して譲らず、本当に妥協をしないタイプの人で、その仕事に対しての姿勢、仕事振りを父の背中から学ばせてもらいました。



技術的などころでも、父はアクリル彫刻から始まっていることもあり、その加工や接着の仕方などは私自身も教えてもらい、今ではその技術が社内にしっかり継承されています。

これからも、天国から見守ってくれているであろう父に恥じない仕事、会社経営をしていきます。今後とも引き続き、日本彫刻工芸をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## ◆編集後記◆

私自身、父とは仕事のこととときどきケンカをすることもあり、親子仲が特別良かったわけではないのですが、たまに一緒に居酒屋に飲みに行くこともありました。私はお酒を飲みます。ただ、上に書きましたように父はお酒を一滴も飲みません。2人で居酒屋に行っては、私ばかりがお酒を飲んでしゃべると、その話をお茶を飲みながら父が聞いてくれてと、今となってはいい思い出です。これからもしっかりとがんばります。

■■大世渡通信はいらないよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■■

### 【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日  
■血液型:O型 ■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(14歳)、天真爛漫な娘(11歳)

【発行元】(株)日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6

Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

農家直営アンテナショップ  
grab luck(グラブラック)  
のインスタはこちら!



GRAB\_LUCK